

建設雇用改善推進会議

苦境下での改善策を模索

15年度建設雇用改善推進会議（鹿兒島労働局職業安定部、雇用・能力開発機構鹿兒島センター共

催)は28日、鹿児島市の有効求人倍率は0・57
県建設センターで開き、だが、土木の生産工程・

厳しい雇用情勢の中での魅力ある就業環境づくりや能力開発の施策と支援、新分野進出と従業員への労働移動などについて意見交換した。

会議には、厚生労働省の出先機関を始め、鹿児島道・宮城・県土木部・商工観光労働部、建設業関連団体等から約50人が出席。冒頭、待島浩二労働局長が「能力開発と長尺部雇用・能力開発機構所長が挨拶したあと、建設機関が最近の雇用失業情勢と建設雇用改善業務について説明した。

11月26日、6月におけ

建設業界の取り組みに呼びかけた。

建設業の取り組みについて、川畑俊彦建設業協会会長は「会員事業所建設労働従事者が減少しつつあり、建設業以外の事業分野に進出する企業もある。建設業への理解を求めるとともに、抜本的な雇改善対策を立てていかなければならない」と述べた。

8・6豪雨災害パネル展

市民ら被災状況に見入る

鹿児島市は28日、平成5年の8・6豪雨災害から今年で10年を迎えるにあたり、「8・6豪雨災害10周年啓発事業」の一環として、鹿児島市役所支所市民ギャラリーや別館で災害直後や復旧に反対させながらの写パネル展を実施した。

パネルをのぞき込む市民ら
＝鹿児島市役所市民ギャラリーで

ソフトボールで心地よい汗

篠崎 浩一郎さん

今年4月、大島支庁から鹿児島土木事務所へ異動となり、3年ぶりに本土に帰ってきました。今年で入庁して7年目、主な業務は砂防・急傾斜の設計・積算ですが、早期発注されるよう日々業務に

興味は、ソフトボールと書道。現在、県ソフトボール部に所属

木材加工技術賞受賞者

1. *Abstract* 2. *Introduction* 3. *Methods* 4. *Results* 5. *Discussion* 6. *Conclusion* 7. *References*

別館市民ギャラリーや各支所で災害直後や復旧後の対比災害前がらうの写真パネル展を実施した。訪れた市民らは足を止め、当時の被災状況等のパネルを食い入るように見入っていた。展示は8月1日まで。

市役所別館ギャラリーにて、市民の防災意識の高揚を図るとともに、認識を新たにしてもらうと実施されているもの。

市役所別館ギャラリーでは、災害直後と復旧後の写真が展示され、多くの市民が足を止めて、パネルをのぞき込むなど関心を寄せていた。

「第18回木材加工技術
賞受賞者を囲むこと」とい
が28日、鹿児島市の県庁
で開かれ、林業振興課職
員や県木材小断面集成
材協議会の会員ら約50人
が出席して、同賞を受賞
した主任研究員の山角達
会が木材加工技術の向

に結びついた。今後も
来までと同様に地域の
学官の連携で課題を解
し、スキの有効活用に
めたい」と語った。

同賞は昭和30年に創
り、日本木材加工技術

た續に對して贈られるもので、これまで14人の人が受賞。いまや關係産業界においては最も權威ある賞の一つ。

今回の受賞は、岡氏が中心となつて平成7年から3年間にわたり産官学で取り組んだ「中小断面集成材の製造システムの開発」という大型プロジェクトと、事業終了後に取り組んだ「集成材の実用化研究」のフォロー研究との一連の業績が高く評価されたもの。岡氏は木竹材や集成材等の「エンジニアリングウッド」に関する試験研究と製造技術において、山之内氏は木材乾燥に関する試験研究において中心的役割を果たしてきた。

経審の基礎知識を解説

建設業の経審戦略でセミナー

雇用能力開発機構

のテーマでセミナーを開き、建設業の経営者ら約30人が出席して、経営事項審査制度の基

本^{ほん}的^{てき}知^ち識^しな^などを^を学^{まな}ん^だ。
な^なお、セ^セミ^ミナ^ナーは^はき^きよ
う^う29日^{にち}ま^まで。
セ^セミ^ミナ^ナーで^では、初^はめ

に同センターの原勝己企画部門部長が「セミナーは通信衛星を使って47都道府県の受講定について説明した。セミナーでは、時折47都道府県の講座の様子など映し出され、講師

当時の被災状況等のパネルを食い入るように見入っていた。展示は8月1日まで。

員や県スギ中小断面集成材協議会の会員ら約50人が出席して、同賞を受賞した主任研究員の山角達

自動販売機のお支払
099-22

＝鹿児島市の同機構鹿児島センターで

者が同時に受講します。このセミナーは双方でのやり取りができませんので、講師の話を聴くだけではなく積極的に参加して勉強したい方だいたいと挨拶した後早速、セミナーに移ります。

講師は、(株)日本コンサルタントグループ建設産業システム研究所（本社、東京都）の宮野好太郎氏が務め、建設業界の現状と今後の、国

に直接接点があり、合間にそれぞれの質問を聞かせてくれる。

雇用能力開発機構のAGネットは、11年度からスタートしており、15年度は24回の講座が計画されている。このうち、建設業が対象になるのは今回を含め3回あり、次回対象になるのは11月の「実業！〜最新経済ポイントアゲル」が中心。講座の関心合わせは、同機

中島断面集成材の製造システムなどについて説明があった講演会＝鹿児島市の県庁で

世氏と山之内清重氏による講演を聴いたほか、意見交換会を行った。

講演会では、大坪弘幸林業振興課長らの挨拶の後、山角氏と山之内氏が「スギ小断面集成材の製造システムの確立と実用化の促進」と題して、事業の概要や成果、集成材の実用化研究などについて説明。この中で、山角氏は研究のまとめについて「事業を通じて、公設が取り組む研究開発

第一
下方視力カメラ

(220倍ズーム)

突風や直撃状待に盲航

ゼネラル インテニヤリング
鹿兒島市錦江町8-6
☎099-223-6386